

改善計画書

施設名 山郷保育園

(担当者 小川 由里 )

(作成年月日 令和 4年 2月 28日作成)

(施設として特に優れている点)	1	ボランティアの協力を得ながら菜園活動を行い、収穫した野菜を給食の食材やクッキング活動で使用することで食育につなげている。また、誕生月に採れる野菜・果物・花を誕生会で紹介し、地域を愛する心を育てている。						
	2	地域の方々との積極的な交流（老人会・病院・デイサービス・障害者施設等）を継続していくために、園の取組のたよりを毎月回覧し地域との関わりを大切にしている。						
	3	乳児保育（0～2歳）では、育児の場面で子どもの生活リズムに合わせて特定の保育士が一人一人と向き合う時間を大切にしている。						
	4	自然豊かな環境を活かし、一年を通して田畑・川・森等での体験活動を取り入れた野外体験保育を行っている。						
	5	社協園独自のマニュアルに基づき全職員が6月までに研修を受ける等、共通理解を形成できるよう取り組んでいる。（衛生研修・防犯研修・救命講習・食物アレルギー対応マニュアル研修）						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当
すくすくめいじ	1	防犯対策の取組に関する情報提供の強化	防犯対策の取組を強化し、保護者に周知する	1年	R4年4月	R5年3月	決められた時間に必ず閉門し施錠する。地域協力員・警察官へパトロール等を依頼し対策強化を図るとともに、保護者に周知する	全職員
	2	園外保育時等の人員増加	防犯対策等から、園外保育時等について増員できるようにシフトに入れる	1年	R4年4月	R5年3月	園外保育時の職員体制を見直すほか、園外への持ち出しについて職員間で周知する（携帯・杖・笛等）	園長、主任
	3	コロナ禍においても、子育てについての成長や喜びが分かち合える機会や工夫の実施	コロナ禍であっても、保護者と子どもの成長や喜びを共感できる工夫をする	1年	R4年4月	R5年3月	行事や子どもの様子を写真や動画にて配信するほか、連絡アプリでカラー配信等の工夫をする	園長、主任、主担任
	4							
	5							
工夫すくすくめいじ	1	職員の共通理解についての意識を高める	共通理解について、全職員が意識を持って行動する	1年	R4年4月	R5年3月	朝礼のミーティングノートの確認を徹底する。回覧・配布物は期日までに全職員が確認するよう声を掛ける（連絡アプリ・職員ラインも活用）	全職員
	2	課題に対する園内研修体制が十分に整っていない	課題に対する研修体制を整え、保育の方向性を統一する	1年	R4年4月	R5年3月	月1回会議を開き、クラスで吸い上げた問題、疑問、悩み等の課題を話し合うことで共通認識を形成するとともに、職員が働きやすい職場環境を整備する	全職員
	3							
	4							
	5							
予算化しなごすくすくめいじ	1	現在のご意見箱は、事務所前の給食展示台の下にあるが、ほとんど意見が入らない状態であるため、設置場所や数を検討する	ご意見箱の利用方法等を再度保護者等へ周知するとともに、目に付きやすい場所に移動する	1年～	R4年4月	R5年3月	ご意見箱の設置場所は園の設備上検討が必要であるため、必要に応じ予算化も視野に入れつつ対応を進める	園長
	2							
	3							
	4							
	5							